

C.ハカールの の 豎琴

～ 絵画の時代から音楽へ～

C.ハカール「シリーズOp.3」他

チェンバロ
渡邊 温子

ヴィオラ・ダ・ガンバ
藍原 ゆき

2026年10月4日(日)

13:30開場 14:00開演

今井館聖書講堂

〒113-0021

東京都文京区本駒込6-11-15

(裏面地図参照)

全席自由 4,000円



お問い合わせ・申し込み

<https://yuki-aihara.com/contact>

絵画の「目に見える世界」を入口に、

同時代の「まだ知られていない音楽」へ。



フランドル音楽史に名を刻む

知られざる巨匠、

カロルス・ハカール。

このコンサートでは、フェルメールと同時代に作られた彼の曲集『シェリーズOp.3』を中心に作品をお届けします。緻密さと華やかさを併せ持つその音楽は、6弦ヴィオラ・ダ・ガンバの魅力余すところなく引き出します。親密な空間で響く、洗練されたフレミッシュの世界をお楽しみください。



ヴィオラ・ダ・ガンバ 藍原ゆき
チェンバロ 渡邊温子

https://note.com/shiny_dahlia839/m/m9f200062216a

2008年より共演を重ねる。演奏活動と並行して協力しながら後進の育成にも当たっている。

新型コロナウイルスの流行により演奏活動が制限される中、YouTubeでの発信を開始。演奏動画や解説を通じた取り組みは国内外で好評を博し、幅広い層に古楽の魅力を伝えている。

2025年に発表したアルバム『フランスいにしへの吐息』は音楽情報誌『ぶらあぼ』『マイオーディオライフ』に取り上げられたほか、音楽ジャーナル『音楽現代』2025年5月号で「これまでのヴィオラ・ダ・ガンバのイメージを覆す」と高く評価された。

また『音楽現代』2025年6月号には注目のアーティストとして、渡邊温子のインタビュー記事が掲載された。



藍原ゆき

東京都立芸術高等学校音楽理論科卒。在学中、平尾雅子に師事。卒業後、イタリアに渡る。

ミラノ市立音楽院でR・ジーニに師事し、トリノ国立音楽院にて、G・パレストラッチ指導の下で学位を取得。

在学中よりソロ及び室内楽等で演奏活動を行い、研鑽を積む。現地で多数のアーティストの活動に参加。

2006年より、活動拠点を日本に移す。演奏と同時に後進の育成にあたり、音楽教室「音庵」「楽庵」を主宰する。

フィアンメッタレーベルを立ち上げ、メジャー化。自ら代表を務めながら作品の発表を重ねる。

「フランスヴィオラ・ダ・ガンバ音楽の熱い鼓動」「ドゥマシの熱い鼓動」は各所で好評を博す。

西洋占術を愛月日奈子に師事。作品の背景や世界観を独自の視点で紹介する文章にも定評がある。

渡邊温子

国立音楽大学附属音楽高等学校、国立音楽大学、ドイツ・ヴェルツブルク音楽大学卒業。有田千代子、グレン・ウィルソン各氏に師事。

ドイツ各地でリサイタルを行い、ヴェルツブルク古楽祭に出演。

2002年より3年間アメリカのワシントンDCに滞在。ワシントンDC、ヴァージニア州、メリーランド州で演奏活動を行う。

2004年よりワシントン古楽祭に招聘され、アメリカ古楽界を牽引する多くの演奏家と共演。現在は東京を中心に演奏活動を行うとともに、無料メールマガジン「月刊バロック通信」や公開講座などを通じてバロック音楽の魅力を広める活動を展開。

書籍『古楽でめぐるヨーロッパの古都』、CD『少女とぼろぼろの文庫本』をリリース。

バロックランチの会、風流楽主宰。武蔵野学院大学非常勤講師、タニタ楽器チェンバロ科講師、日本チェンバロ協会会員。



CD販売ページ

フランスいにしへの吐息

発売日：2025年1月15日

規格品番：FMOE-003

作曲：マラン・マレフランソワ・クーブラン

演奏：藍原ゆきヴィオラダガンバ 渡邊温子チェンバロ



公演お問い合わせ・申し込み

